

第5回
大阪医科薬科大学大学院医学研究科
がんプロフェッショナル養成プラン主催セミナー



英国のがん格差研究に関する講演

がん医療およびがんのアウトカムにおける根強く残る格差：
何を間違っているのか？
Persistent inequalities in cancer care
and cancer outcomes: what are we doing wrong?



講師

Bernard Rachet 先生

ロンドン大学衛生学熱帯医学校
Inequalities in Cancer Outcomes Network (ICON) 教授

略歴

Bernard Rachet先生は医学のバックグラウンドを持つがん疫学者で、ロンドン大学衛生学熱帯医学校において、Inequalities in Cancer Outcomes Network (ICON) を率いている。彼らの研究目標は、がんと診断されたすべての患者のがんのアウトカムを改善し、がん医療とがんのアウトカムにおける格差を減らすことである。こうした格差の根底にあるメカニズムを探り、格差を減らすための提言を行い、政策を評価している。



参加費
無料
(要事前申込)

日時

2024 **3月8日** (金)
15:00-16:30

場所

大阪医科薬科大学

新講義実習棟3階 P301 & Zoom
(ハイブリッド開催)

概要

英国では、がん治療とアウトカムにおける広範な格差が存在し、こうした格差を縮小することを目的として、がん対策に取り組んできたにもかかわらず、依然として格差は存在している。英国におけるがんのアウトカムの格差を概観した後、政策的主導の根底に示唆されるいくつかのメカニズムについて議論する。格差に関する最近の我々の研究は、個人レベルの要因とシステムレベルの要因の二分法を超えて、医療システムの構成要素とがん患者の社会人口統計学的特性との相互作用を検討することにシフトしている。格差の捉え方を修正し、がん政策戦略に不平等への配慮を体系的に組み込むためには、不特定多数の人々の声を聞くことも極めて重要である。
(講演は、英語でのご発表となります。)

ファシリテーター



伊藤 ゆり

大阪医科薬科大学 医学研究支援センター 医療統計室 室長・准教授
大阪医科薬科大学 医学系研究科 がんプロフェッショナル養成プラン
プログラム責任者

お申し込み

当日参加も可能ですが、参加状況把握のため
事前お申込にご協力をお願いします。



お問い合わせ先

大阪医科薬科大学 がんプロ事務局 (学務部医学事務課内)
e-mail ompu_ganpuro_office@ompu.ac.jp

主催：大阪医科薬科大学 次世代のがんプロフェッショナル養成プラン

共催：厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金 がん対策推進総合研究事業 「誰一人取り残さないがん対策における格差のモニタリングと要因解明に資する研究」班